

各 位

会 社 名 タ マ ホ ー ム 株 式 会 社  
住 所 東 京 都 港 区 高 輪 三 丁 目 2 2 番 9 号  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 木 伸 弥  
(コード番号：1419)  
問 合 わ せ 先 取 締 役 戦 略 本 部 長 兼 経 理 部 長 西 堀 祐 介  
TEL. 03-6408-1200

**2026年5月期第3四半期 決算説明会（テレフォンカンファレンス）に関する  
質疑応答概要の公開について**

日頃より、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。  
当社は本日、2026年5月期第3四半期 決算説明会をテレフォンカンファレンス形式により開催いたしました。  
ご出席いただきました皆様から同決算に関するご質問を賜り、ご回答を行っております。  
以下、質疑応答概要につきましてお知らせいたします。

**【質疑応答概要】**

Q1.

3月度の受注が好調だった要因について教えてください。

A1.

3月度の受注好調の主な要因としては、人員確保と教育が進み、成約率が上昇したことが挙げられます。  
また、金利が上昇基調にある中で、今のタイミングで前向きに購入を検討されるお客様が増加したことも大きな要因となっております。

Q2.

不動産セグメントにおいて、戸建分譲事業、オフィス区分所有販売事業それぞれの営業利益率が改善した要因を教えてください。

A2.

戸建分譲事業における営業利益率改善の主な要因は、優良土地の仕入が多くできたことです。  
特に、10区画以下の分譲用地を厳選して仕入れることで、資金回転率の向上と、高利益率の維持という好循環が生まれている状況でございます。  
また、オフィス区分所有権についても、優良物件の仕入が重要となりますので、非常に優良な仕入ができたことが営業利益率の改善に寄与しております。

Q3.

各種建材の値上げが発表されていますが、4月以降も問題なく利益が確保できるのか教えてください。また、建材等の確保や安定供給の見込について、現状の状況を教えてください。

A3.

価格については、一部のメーカー様から値上げ要請がございますが、適宜調整を行いながら、順次対応を進めております。

また、中東情勢の流動化に伴い、日々サプライチェーンの状況も変化しておりますが、各メーカー様にご協力をいただき、資材確保に努めております。

今後も情勢を注視しつつ、お客様へご迷惑をおかけしないよう、慎重に判断をしております。

Q4.

今回、減配を決定された背景について教えてください。

また、1株当たり配当金を125円とされた背景について、来期以降の利益回復の見込や株主還元に対する今後の基本的な考え方と併せて教えてください。

A4.

株主還元は重要な経営課題と認識しておりますが、今回の配当予想の修正は、足元の事業環境と将来に向けた投資のバランスを総合的に勘案し、資本配分の観点から慎重に判断をいたしました。

また、1株当たり配当金を125円と設定したのは、営業体制の強化や収益性の改善といった取り組みを確実に実行するためでございます。

今後は、業績のV字回復に向けた事業基盤の再構築や中長期的な成長に向けた投資を着実に進めてまいるとともに、更なる受注・業績の拡大に努めてまいります。

以 上